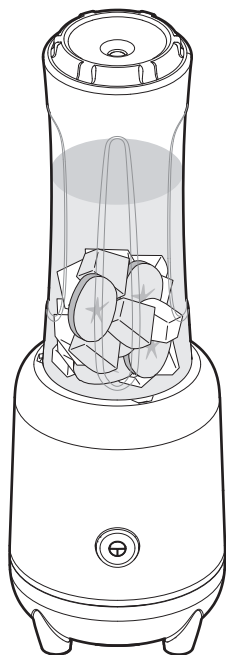


取扱説明書(WEB)

ボトルブレンダー

型番:IBB-601



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「[安全上の注意 P6](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

本製品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge ブラウザ(最新版)、Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

◆ 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

| | |
|-----------------------------|-----------|
| ご使用の前に | 6 |
| 安全上の注意..... | 6 |
| 使用上の注意..... | 10 |
| 確認と準備 | 11 |
| 各部の名称..... | 11 |
| 使いかた | 13 |
| 使用する前に..... | 13 |
| 基本手順..... | 15 |
| ブレンダーパッキンの取り付け/取り外し..... | 20 |
| ドリンクキャップパッキンの取り付け/取り外し..... | 22 |
| クッキングガイド | 24 |
| レシピ..... | 24 |
| お手入れ | 30 |
| 本体・その他..... | 30 |
| お困りのときは | 31 |
| お困りのときは..... | 31 |
| 急に運転が停止したときは..... | 33 |
| その他の情報 | 34 |
| 廃棄について..... | 34 |
| 仕様..... | 35 |

| | |
|------------------|----|
| 保証とアフターサービス..... | 36 |
| お問い合わせ..... | 37 |

ご使用前に

安全上の注意




最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。


人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P6](#)






→ [注意 P8](#)


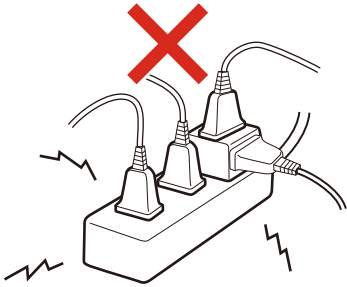
図記号の意味

| | | | | | |
|---|------------|---|------------|---|----------------|
|  | 注意を促す記号です。 |  | 禁止を示す記号です。 |  | 必ず行うことを示す記号です。 |
|---|------------|---|------------|---|----------------|






 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

| | |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 |
|   プラグを抜く | <ul style="list-style-type: none">使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜くボトルやカッター台の本体への取り付け・取り外しは、スイッチを OFF にして必ず電源プラグをコンセントから抜いて行う 火災・感電・けがの原因になります。電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。お手入れや点検、移動時には必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電・けがの原因になります。異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常・故障例〕<ul style="list-style-type: none">異常な音やにおいがする電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする製品に触れるとピリピリ電気を感じる本体が変形していたり、異常に熱くなるボトルにひび割れなどができた▶ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P37 ( 電話をかける)へお問い合わせください。 |
|  ぬれ手禁止 | <ul style="list-style-type: none">ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。 |

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードを束ねて通電しない 過熱して火災・やけどの原因になります。 電源コードは、必ずのばして使用してください。 • 乳幼児に電源プラグをなめさせない 感電・けがの原因になります。 • 電源コードを傷付けない • 電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 • 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P37(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。 • 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。 • コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。  |
|---|---|

使用時について

| | |
|--|--|
|  <p>分解禁止</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P37(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> • 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない • 子どもや取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない 感電・やけど・けがの原因になります。 |
|  <p>接触禁止</p> | <ul style="list-style-type: none"> • カッターは鋭利なため、直接手を触れない けがをするおそれがあります。 |
|  <p>水ぬれ禁止</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 本体を水につけたり、本体に水をかけない 火災・感電の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> • カッターが露出した状態で使用しない けがの原因になります。必ずボトルを取り付けて使用してください。 |

- ・ 運転中にボトルなどの取り付け・取り外しをしない
けがをするおそれがあります。
- ・ ボトルの中にスプーン・はしなどを入れない
けが・故障のおそれがあります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

使用時について

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ ボトルの最大目盛りを超える量の材料を入れない もれ・故障の原因になります。 ・ ボトルが空の状態では運転しない 故障・破損の原因になります。 ・ 100mL より少ない液体で使用しない 故障・破損の原因になります。 ・ 40℃以上のお湯や、熱い材料は入れない やけどやボトルの割れ、製品の破損によるけがの原因になります。 ・ ボトルを火にかけない ・ ボトルを電子レンジやオーブンに入れない 破損して、火災・けがの原因になります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 調理以外の用途に使用しない 火災・けがの原因になります。 ・ 業務用など家庭用以外の用途に使用しない 本製品は家庭用として設計されています。 業務用など家庭用以外の用途に使用すると、火災・故障などの原因になります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中に持ち運びしない ・ 本体やボトルを落とさない けがの原因になります。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ カッター台やボトルは他の製品のものを使用しない |

- ・カッター台やボトルは他の製品に使用しない
破損したり、異常動作したりして、けがの原因になります。



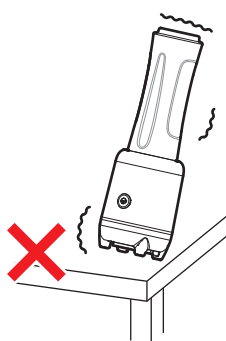
- ・吸気口・排気口をふさがない
- ・毛足の長いじゅうたんの上や、紙、テーブルクロスなど吸い込まれやすいものの上で使用しない
吸気口・排気口は底面にあります。
ふさがれると、過熱して火災の原因になります。
- ・吸気口・排気口・その他の開口部に指や金属などの異物を入れない
感電・故障の原因になります。
- ・底面がぬれる場所で使用しない
液体を吸い込み、感電・故障の原因になります。



- ・カッター台と本体の間にものはさまない
異常動作したり、過熱したりして、火災・感電・けがの原因になります。



- ・変形や破損など異常があるときは使用しない
火災・感電・けがの原因になります。
- ・倒したり、ぶついたり、落としたり、強い衝撃をあたえない
火災・感電・けがの原因になります。
- ・屋外で使用しない
故障してショートや火災の原因になります。
- ・不安定な場所で使わない
- ・火気の近くで使用しない
火災・感電・けがの原因になります。
- ・テーブルの端などで使用しない
落下してけが・破損の原因になります。



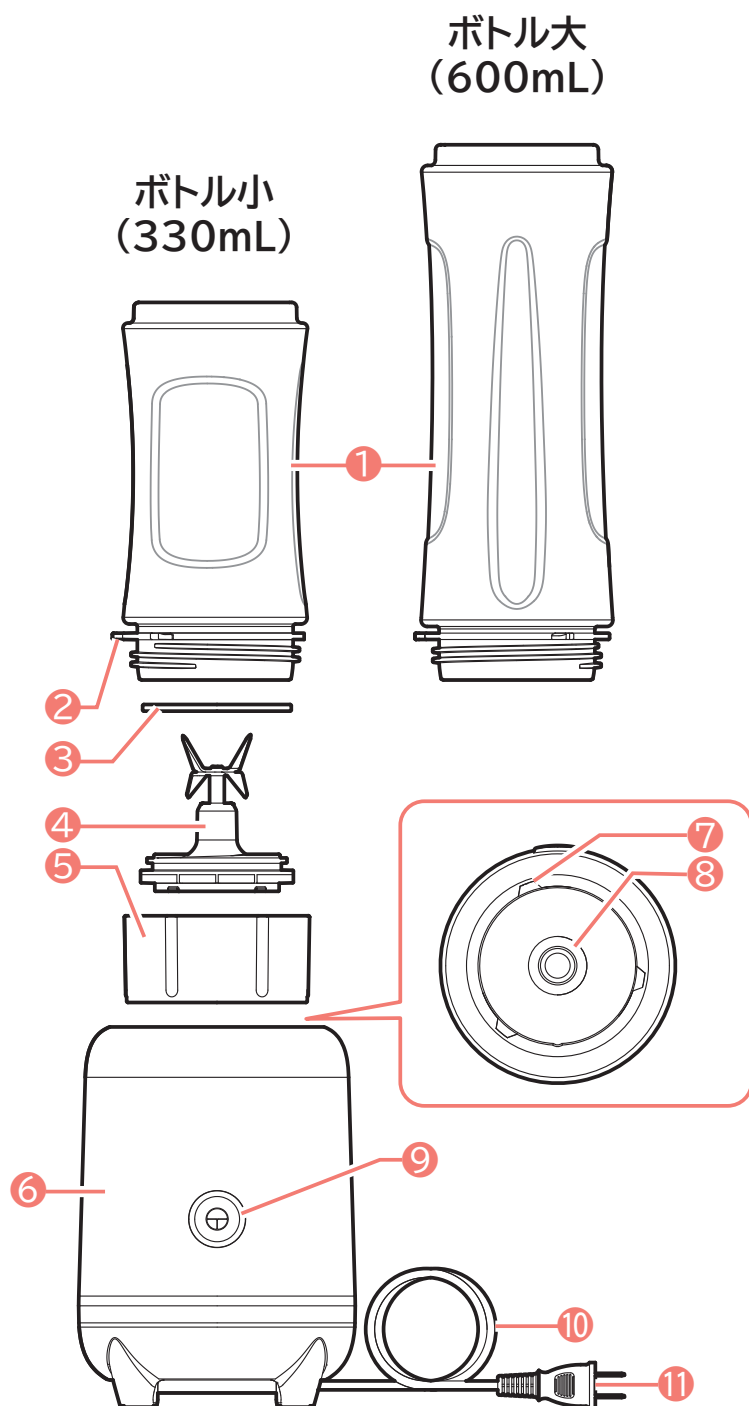
使用上の注意

- 定格時間を超えて運転しないでください。
本製品は 1 分間運転したら 1 分間休止してください。また、5 回運転したら 30 分以上休止するようにしてください。
故障・性能低下の原因になります。
- 材料が多すぎたりして運転が停止したときやスイッチを入れても動作しないときは、
すぐにスイッチから手を離してください。(→[急に運転が停止したときは P33](#))
故障・過熱の原因になります。
- 調理できない材料を使用しないでください。(→[基本手順 P15](#))
故障・破損の原因になります。
- パッキンが破損したり劣化している場合は、使用しないでください。
交換用のパッキンについては、[アイリスコール P37](#) (☎ [電話をかける](#)) へお問い合わせください。
- パッキンは必ず取り付けて使用してください。
もれ・故障の原因になります。
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。

確認と準備

各部の名称

— 調理時



【ボトル以外の部品はすべてボトル大／小共通です】

- ① ボトル
- ② 取り付け用ツメ

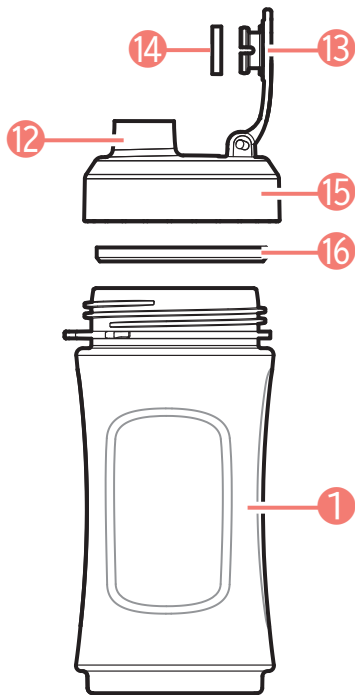
- ③ ブレンダーパッキン
- ④ カッター
- ⑤ カッター台
- ⑥ 本体
- ⑦ 切り欠き部

※ボトルの取り付け用ツメが、切り欠きにしっかりとハマっていないと安全装置が働き、運転できません。

- ⑧ 回転部
- ⑨ スイッチ: スイッチを押している間だけ運転します。
- ⑩ 電源コード
- ⑪ 電源プラグ

— 持ち運び時

ドリンクキャップを取り付けて直接飲むことができます。



- ① ボトル
- ② 飲み口
- ③ 飲み口ふた
- ④ 飲み口パッキン
- ⑤ ドリンクキャップ
- ⑥ ドリンクキャップパッキン

※ボトル大(600mL)でも同じように使用可能です。

使いかた

使用する前に

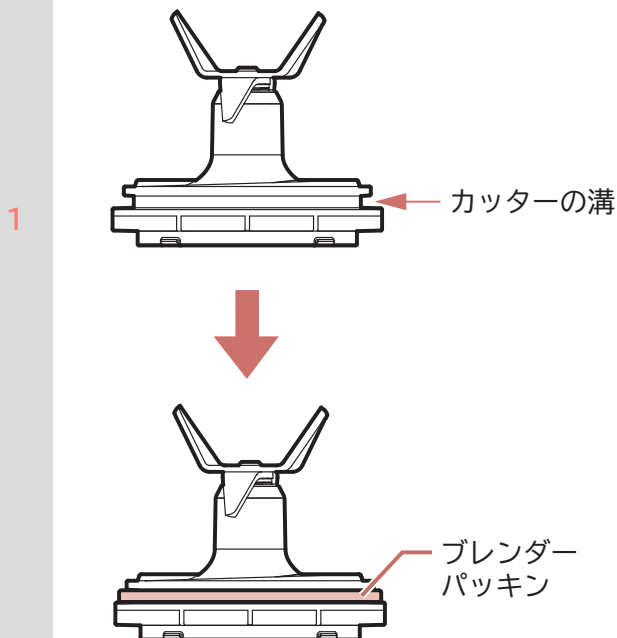
初めて使用するときは、本体以外の部品を台所用中性洗剤でよく洗ってから組み立てて、使用してください。

(→[お手入れ P30](#))

－ カッター台の組み立て

カッターの溝にブレンダーパッキンを取り付ける

- ・お買い上げ時、ブレンダーパッキンはカッターに取り付けられています。
※パッキンは忘れずに取り付けてください。
- ・また、ブレンダーパッキンが浮きなく、正しく取り付けられているか確認してください。
パッキンを正しく取り付けないと材料がもれるおそれがあります。



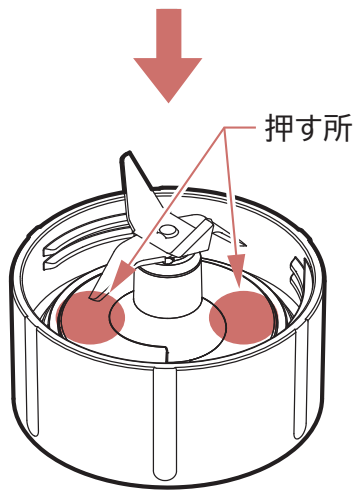
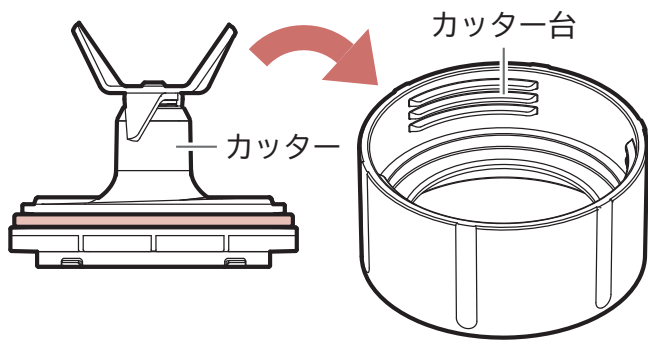
カッター台の上側から 1 のカッターを挿入し、カチッと音が鳴るまでカッターを上から押す

2



警告

- ・カッターの刃に触れないようご注意ください。
けがのおそれがあります。



基本手順



注意

調理できない材料

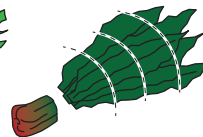
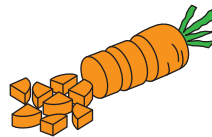
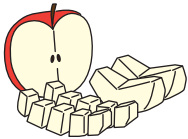
次のような材料は調理できません。

- ・ねばりがある材料(やまいも、もちなど)
- ・水分の少ない材料(ゆでたじゃがいもなど)
- ・かたい材料・乾燥した材料(冷凍食品・乾物・米など)
- ・肉・魚類
- ・繊維質の材料(野菜・果物の皮、たくあん、根こんぶなど)
- ・流動食・離乳食
- ・2.5cm 角以上の氷・市販の氷
- ・40℃以上の材料

材料を準備する

！お願い

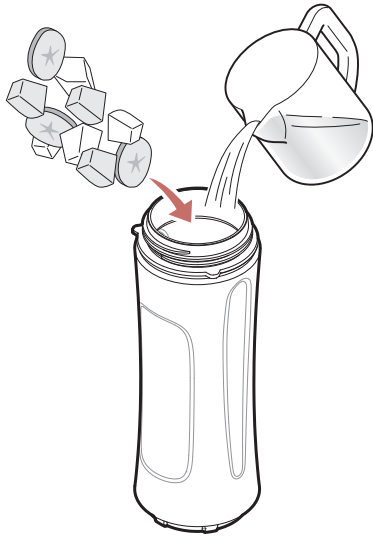
- 1 材料の芯、皮、種、へたなどは取り除いてください。
 - ・かたい材料は1cm 角、柔らかい材料は2～3cm 角に、あらかじめ切ってください。
 - ・加熱調理が必要な材料は調理を済ませて、40℃以下に冷ましてください。



材料をボトル容器に入れる

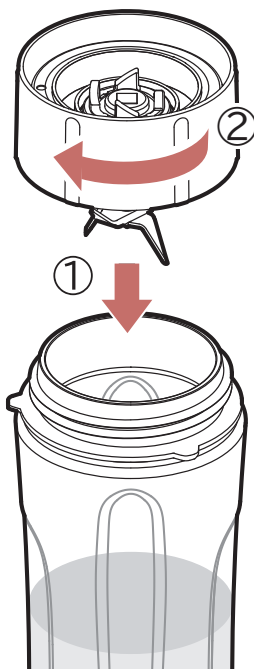
！お願い

- 2 材料は、角氷・かたい材料・柔らかい材料・液体の順に入れてください。
 - ・液体や柔らかい材料を先に入れると、角氷やかたい材料がカッターに引っかかって回転しないおそれがあります。
 - ・調理できる最大容量はボトル大で600mL、ボトル小で330mLです。これ以上の量を入れしないでください。
 - ・液体は最低100mL入れてください。



ボトルにカッターをセットしたカッター台を取り付ける

カッター台のセットのしかたは、「[カッター台の組み立て P13](#)」をご確認ください。
カッター台をボトルにはめ込み(①)、カッター台を時計回りに回してしっかり固定してください(②)。



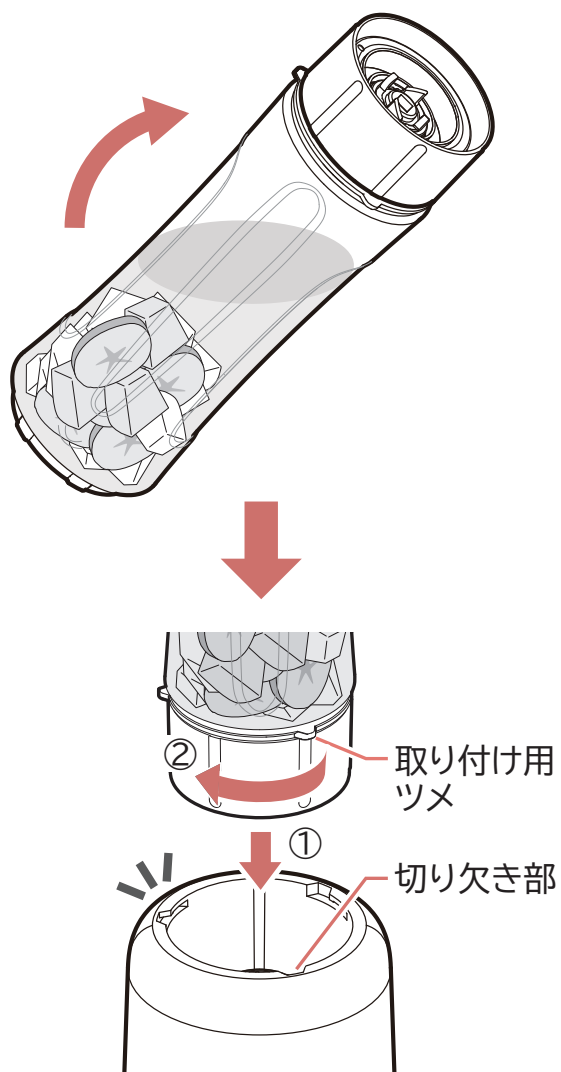
※パッキンは忘れずに取り付けてください。
※ボトルはぐらつきがないようにしっかり締め込んでください。
ボトルとカッター台をしっかり締め込まないと材料がもれることがあります。

ボトルを本体にセットする

ボトルを逆さにして、取り付け用ツメが本体の切り欠きに合うように差し込み(①)、
取り付け用ツメが見えなくなるまで時計回りに回してしっかり固定してください(②)。

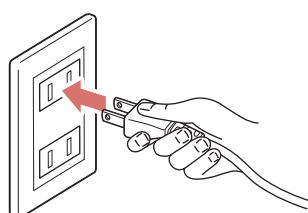
ポイント

• ボトルが本体にしっかり固定されないとカッターは回転しません。



電源プラグをコンセントに差し込む

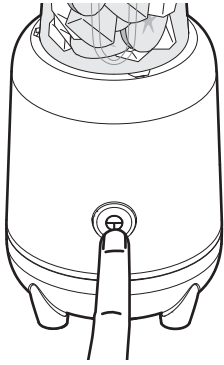
5



スイッチを押して調理する

6

スイッチを押している間だけ、カッターが回転します。



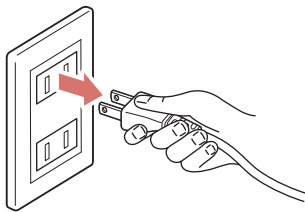
※1分間運転したら1分間休止してください。また、5回運転したら30分以上休止するようにしてください。

ポイント

- 材料が引っかかったときは、すぐにスイッチを離し一度ボトルを本体から取り外し、引っかかった材料を取り除いて、再度調理してください。
- 材料が多い時などカッターがスムーズに動かないときは、間欠運転(スイッチを断続的に押して、カッターを少しずつ動かす)をすると、材料が小さく碎けて調理しやすくなります。

電源プラグを抜く

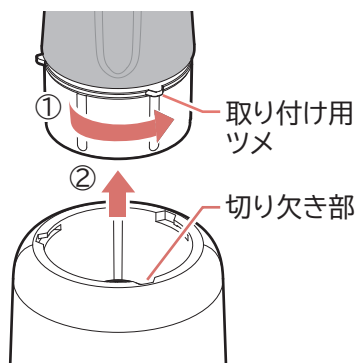
7



ボトルを反時計回りに回して本体から取り外す

ボトルを反時計回りに回し(①)、ボトルを本体から取り出してください(②)。

8



9

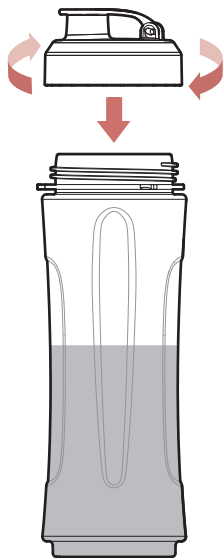
ボトルを逆さまにし、カッター台を反時計回りに回して外す

カッター台を反時計回りに回し(①)、カッター台をボトルから取り外してください(②)。



調理物を取り出す、またはドリンクキャップを取り付けて使う

ドリンクキャップパッキンの取り付けかたは「[ドリンクキャップパッキンの取り付けかた P22](#)」をご確認ください。
※ドリンクキャップパッキンと飲み口パッキンは忘れずに取り付けてください。



10

※ドリンクキャップはぐらつきがないようにしっかり締め込んでください。

ポイント

- 調理物を取り出しにくいときは、ゴムべらなどを使用してください。
- できあがった調理物は早めにお召し上がりください。
保存する場合は、ボトルに入れた状態で保存しないでください。
- ドリンクキャップの飲み口は完全に密閉されないため、
横に倒した状態で保存・持ち運びしないでください。
調理物がもれるおそれがあります。

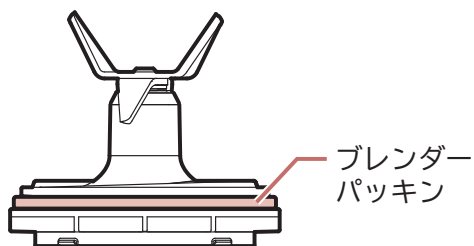
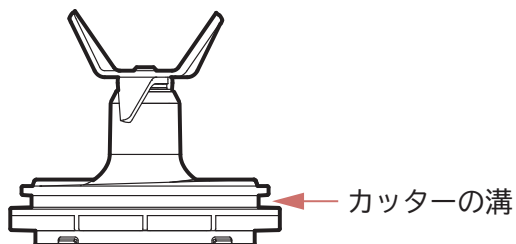
ブレンダーパッキンの取り付け/取り外し

－ ブレンダーパッキンの取り付けかた

お買い上げ時、ブレンダーパッキンは、カッターに取り付けられています。

カッターの溝にブレンダーパッキンを取り付ける

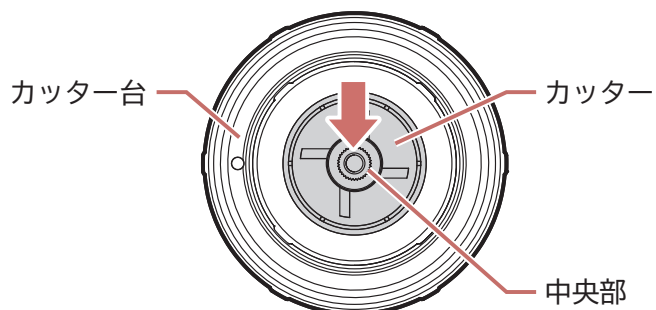
※ブレンダーパッキンが浮きなく、正しく取り付けられているか確認してください。



－ ブレンダーパッキンの取り外しかた

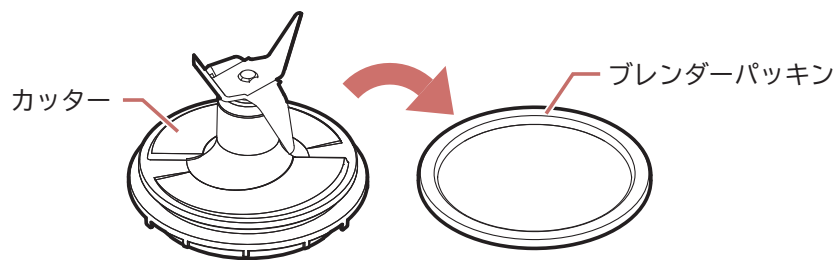
カッターの底面側からカッターの中央部を押して、カッター台からカッターを取り外す

1



2 カッターからブレンダーパッキンを外す

2



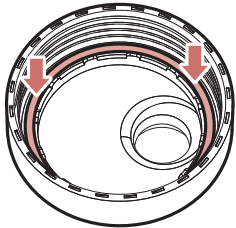
ドリンクキャップパッキンの取り付け/取り外し

－ ドリンクキャップパッキンの取り付けかた

お買い上げ時、ドリンクキャップパッキンは、ドリンクキャップに取り付けられています。

ドリンクキャップの溝にドリンクキャップパッキンを浮きがないように取り付ける

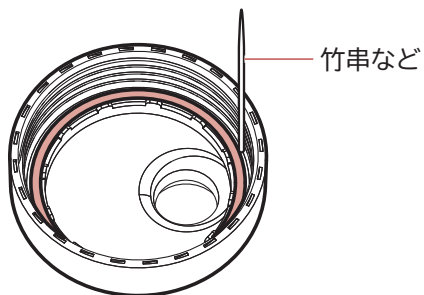
※ドリンクキャップパッキンを上から押し、浮いていないことを確認してください。



－ ドリンクキャップパッキンの取り外しかた

ドリンクキャップとドリンクキャップパッキンの間に、竹串などを差し込んで取り外す

パッキンの端を浮かせるように差し込み、パッキンを取り外してください。



※竹串などの鋭利な部分は使用しないでください。

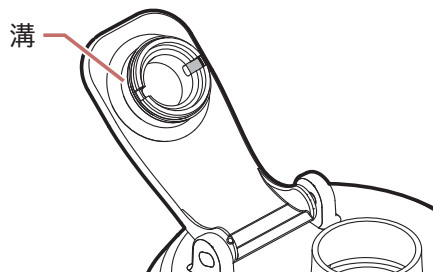
鋭利な部分を使用すると、パッキンが傷付くおそれがあります。必ず、鋭利ではない部分を使用してください。

— 飲み口パッキンの取り付けかた

お買い上げ時、飲み口パッキンは飲み口ふたに取り付けられています。

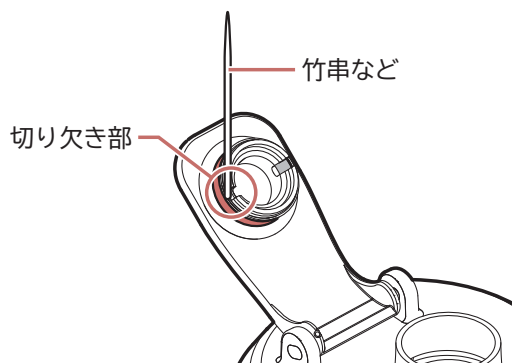
飲み口ふたの溝に飲み口パッキンを取り付ける

※飲み口パッキンが浮きなく、正しく取り付けられているか確認してください。



— 飲み口パッキンの取り外しかた

飲み口ふたの切り欠き部に竹串などを差し込み、パッキンの端を浮かせて取り外す



※竹串などの鋭利な部分は使用しないでください。

鋭利な部分を使用すると、パッキンが傷付くおそれがあります。必ず、鋭利ではない部分を使用してください。

クッキングガイド

レシピ

[レシピサイト](#)でもご確認いただけます。



●330mL ボトルのときは材料の分量を半分にして調理してください。

(フローズンダイキリ、フローズンストロベリーダイキリを除く)

→ [フローズン:氷を使用するレシピ P25](#)

→ [スムージー:氷を使用しないレシピ P27](#)

→ [スープ P28](#)

→ [デザート P29](#)

■フロースン

- ・容量・材料の状況によって、氷の塊が残る場合があります。

フロースンコーヒー

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|------------|---------------|
| インスタントコーヒー | 小さじ 2 |
| お湯 | 30mL |
| 牛乳 | 150mL |
| ガムシロップ | 2 個 |
| 氷 | 200g |
| バニラエッセンス | 少々 |
| ★トッピング | ホイップクリームをお好みで |

手順

- 1 インスタントコーヒーはお湯で溶いて冷ましておく。
- 2 ボトルに氷・牛乳・1・ガムシロップ・バニラエッセンスを入れてふたをし、本体にセットする。
- 3 スイッチを 5 回断続的に押して攪拌した後、【50 秒】連続運転をする。
- 4 グラスに入れて、お好みでホイップクリームをトッピングする。

フロースン抹茶クリーム

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|----------|----------------------|
| 牛乳 | 160mL |
| ガムシロップ | 4 個 |
| ホワイトチョコ | 20g |
| 抹茶パウダー | 小さじ 4 |
| 氷 | 200g |
| バニラエッセンス | 少々 |
| ★トッピング | ホイップクリーム・抹茶パウダーをお好みで |

手順

- 1 ホワイトチョコは粗めに砕く。
- 2 ボトルに氷・ホワイトチョコ・牛乳・ガムシロップ・抹茶パウダー・バニラエッセンスを入れてふたをし、本体にセットする。
- 3 スイッチを 5 回断続的に押して攪拌した後、【50 秒】連続運転をする。
- 4 グラスに入れて、お好みでホイップクリームと抹茶パウダーをトッピングする。

- ・ フローズンダイキリ・フローズンストロベリーダイキリは、ホワイトラム(アルコール度数 40%)、ホワイトキュラソー(アルコール度数 40%)、ライムジュース(果汁 80%)を使用しています。
調理前にアルコール度数、果汁値をご確認の上、お好みに合わせて液体の総量が 100mL 以上になるように調節してください。

フローズンダイキリ

材料(330mL ボトル 1 回分)

| | |
|-----------|------|
| ホワイトラム | 40mL |
| ホワイトキュラソー | 10mL |
| ライムジュース | 40mL |
| ガムシロップ | 10mL |
| 氷 | 110g |

手順

- 1 ボトルに氷・ホワイトラム・ホワイトキュラソー・ライムジュース・ガムシロップを入れてふたをし、本体にセットする。
- 2 スイッチを 5 回断続的に押して攪拌した後、**【50 秒】**連続運転をする。

フローズンストロベリーダイキリ

材料(330mL ボトル 1 回分)

| | |
|-----------|------------|
| ホワイトラム | 50mL |
| ホワイトキュラソー | 10mL |
| ライムジュース | 20mL |
| ガムシロップ | 20mL |
| いちご | 4 個(約 50g) |
| 氷 | 110g |

手順

- 1 ボトルに氷・いちご・ホワイトラム・ホワイトキュラソー・ライムジュース・ガムシロップを入れてふたをし、本体にセットする。
- 2 スイッチを 5 回断続的に押して攪拌した後、**【50 秒】**連続運転をする。

■スムージー

チョコバナナスムージー

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|----------|---------------|
| バナナ | 3 本(可食部 300g) |
| 牛乳 | 300mL |
| ココアパウダー | 大さじ 2(12g) |
| ホイップクリーム | お好みで |

手順

- 1 バナナは 2 cm幅に切る。
- 2 ボトルにバナナ・牛乳・ココアパウダーの順に入れてふたをし、本体にセットする。
- 3 スイッチを押して【20 秒】連続運転をする。

グリーンスムージー

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|----------|-------|
| 小松菜 | 50g |
| アボカド | 1/2 個 |
| キウイフルーツ | 1 個 |
| グレープフルーツ | 1 個 |
| 牛乳 | 200mL |
| はちみつ | 大さじ 1 |

手順

- 1 小松菜は 3 cm幅に切る。アボカド・キウイフルーツ・グレープフルーツは皮を剥き、2 cm角に切る。
- 2 ボトルにキウイフルーツ・グレープフルーツ・アボカド・小松菜・はちみつ・牛乳の順に入れてふたをし、本体にセットする。
- 3 スイッチを押して【50 秒】連続運転をする。

■スープ

かぼちゃのポタージュ

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|------|-----------|
| かぼちゃ | 200g(可食部) |
| 牛乳 | 400mL |
| バター | 20g |

| | |
|-----------|-------|
| A： 顆粒コンソメ | 小さじ 2 |
| 白こしょう | 少々 |
| 塩 | 少々 |

★トッピング 生クリーム、クルトン、パセリなどお好みで

手順

- 1 かぼちゃは種とワタを取り除いて皮を剥き、2 cm角に切る。
- 2 耐熱皿に重ならないように1を並べ、ふんわりラップをかけて【レンジで 500W/7 分】やわらかくなるまで加熱する。熱いうちに潰し、冷ましておく。
- 3 ボトルに2・牛乳 300 mL・Aの順に入れてふたをし、本体にセットする。
- 4 スイッチを押して【30 秒】連続運転をする。
- 5 4・バター・残りの牛乳 100 mL を鍋に入れ、沸騰しない程度に温める。
- 6 お好みでトッピングを飾る。

ほうれん草のポタージュ

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|--------|-------|
| ほうれん草 | 100g |
| 玉ねぎ | 1/2 個 |
| バター | 20g |
| 牛乳 | 300mL |
| 顆粒コンソメ | 小さじ 2 |
| 塩、こしょう | 各少々 |

手順

- 1 ほうれん草は3 cm幅に切り、玉ねぎは薄切りにする。
- 2 フライパンにバターを溶かして玉ねぎを炒め、透き通ってきたらほうれん草を加えて炒める。
- 3 ボトルに牛乳・2・顆粒コンソメを入れてふたをし、本体にセットする。
- 4 スイッチを押して【30 秒】連続運転をする。
- 5 4を鍋に入れて沸騰させないように温め、塩・こしょうで味を調える。

■デザート

バニラアイス

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|-----------|-------|
| 生クリーム | 200mL |
| 牛乳 | 200mL |
| 卵黄(溶いておく) | 2 個分 |
| 砂糖 | 70g |
| バニラエッセンス | 適量 |

手順

- 1 ボトルに生クリーム・牛乳・砂糖・卵黄・バニラエッセンスを入れてふたをし、本体にセットする。
- 2 スイッチを押して【30 秒】連続運転をする。
- 3 容器に移し冷凍庫で約 3 時間ほど冷やし固める。
※途中 2~3 回取り出して全体をほぐすように混ぜる。
やわらかすぎるようであればさらに 30 分~1 時間冷やし固める。

ヨーグルトシェイク

材料(600mL ボトル 1 回分)

| | |
|-------------|-----------------|
| 飲むヨーグルト(加糖) | 400mL |
| バニラアイス | 50g |
| ★トッピング | お好みのジャム、ウェハースなど |

手順

- 1 ボトルにバニラアイス・飲むヨーグルトを入れてふたをし、本体にセットする。
- 2 スイッチを押して【30 秒】連続運転をする。
- 3 容器に移し、冷凍庫で冷やし固める。途中 2~3 回取り出し、かき混ぜる。
- 4 器に盛って、お好みでトッピングを飾る。

お手入れ

本体・その他

使用後は毎回お手入れをしてください。



警告

- ・ お手入れは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜いてから行う
- ・ カッターの刃に直接触れない
- ・ 本体に水をかけない



注意

- ・ シンナー、ベンジン、漂白剤、スポンジのナイロン面、たわし、磨き粉、化学ぞうきんなどは使わない
- ・ 40℃以上のお湯は使わない
- ・ 食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使わない
部品の変形・破損・故障の原因になります。

■本体のお手入れ

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れをふき取る

■その他(ボトル・カッター・パッキン類)のお手入れ

スポンジ・ブラシなどで水洗い、または台所用洗剤で洗って、水で流す

・ボトル大・ボトル小・カッター台・カッター・ブレンダーパッキン・ドリンクキャップ・ドリンクキャップパッキン・飲み口パッキンは取り外して洗ってください。(→[パッキンの取り付け/取り外し P20](#))

洗った後、よく乾かしてください。



プラスチック部品※等は、にんじん・葉野菜の色素が付着して変色することがあります。

洗っても完全には取れませんが、使用上問題はありません。

※ボトル大、ボトル小、カッター台、カッター、ブレンダーパッキン、ドリンクキャップ、ドリンクキャップパッキン、飲み口パッキン

お困りのときは

お困りのときは

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みの上、下記の点を確認してください。

| こんなときは | 理由・処置 |
|--------------------|--|
| スイッチを回しても 運転しない | <ul style="list-style-type: none">電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認してください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">ボトルが本体に確実にハマっていますか？ → ボトルを本体に載せて、取り付け用ツメが見えなくなるまで時計回りに回して確実にハマってください。(→ 基本手順 P15) |
| | <ul style="list-style-type: none">カッターに材料が引っかかっていますか？ → スイッチから手を離し、材料を全て取り出して入れ直してください。 |
| 調理物がもれる | <ul style="list-style-type: none">ボトルとカッター台の締め込みは十分ですか？ → ボトルをカッター台にねじ込んで、しっかり締め込んでください。(→ 基本手順 P15) |
| | <ul style="list-style-type: none">パッキンを付け忘れていませんか？ → ボトルを取り付ける前に、必ずブレンダーパッキンをカッターに正しく取り付けてください。(→ パッキンの取り付け/取り外し P20) |
| | <ul style="list-style-type: none">ブレンダーパッキン、飲み口パッキン・ドリンクキャップパッキンが破損または劣化していませんか？ → アイリスコール P37 (☎ 電話をかける)にお問い合わせください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">カッターとカッター台のガタが大きくないですか？ → カッターをカッター台に正しく取り付けてください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">材料を入れすぎていませんか？ → 材料を減らしてください。 |
| | <ul style="list-style-type: none">カッター刃がぐらついていませんか？ → カッター台のカッター刃の軸が摩耗しています。アイリスコール P37 (☎ 電話をかける)にお問い合わせください。 |
| 空回りする | <ul style="list-style-type: none">材料が引っかかっていますか？ → スイッチを OFF にし、材料を全て取り出し入れ直してください。(→ 基本手順 P15) → 材料の大きさやかたさを適切にしてください。(→ 基本手順 P15) → 液体を増やしてください。 |
| 使用中に運転が止まった | <ul style="list-style-type: none">モーターの保護装置が働いています。以下のような状況になっていませんか？ → 調理できない材料が入っている(→ 基本手順 P15) |

| | |
|--------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> → 材料が多すぎる → 材料の水分が少ない 「急に運転が停止したときは P33」を参照してやり直してください。 → 材料の切りかたが大きい |
| 異臭がする | <ul style="list-style-type: none"> • モーターに負担がかかっています。 → 30 分以上休ませてください。 |
| 振動が大きい | <ul style="list-style-type: none"> • 不安定な場所に設置していませんか？ → 水平で安定した場所に設置してください。 |

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P37](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



警告

• ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

急に運転が停止したときは

モーターに負担がかかると、保護装置が働き運転が停止します。そのようなときは、以下の手順でやり直してください。

- 1 スイッチから手を離し、電源プラグを抜いて、30分以上休ませる
- 2 調理できない材料は取り除き、材料が多い場合は減らし、液体を足すなどする
- 3 電源プラグを接続して、再度操作する

その他の情報

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

| | |
|----------------------|------------------------------|
| 電源 | AC100V(50/60Hz 兼用) |
| 定格消費電力 | 300W |
| 定格時間 | 1分運転ごとに1分停止 5回運転後は30分以上停止 |
| 定格容量 | ボトル(大)600 mL ボトル(小)330 mL |
| 電源コード長さ | 約 1.0m |
| 外形寸法(600 mL ボトルセット時) | 幅 114×奥行 114×高さ 389mm |
| 製品質量 | 約 0.9kg |

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

－保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

－保証期間

保証期間は、保証書(かんたん操作ガイド)に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P37](#)( [電話をかける](#))にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P37](#)( [電話をかける](#))にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>